

# 「低学歴・留年経験あり・仕事ができない」 典型的なダメ人間から抜け出すために 僕はプログラミングで稼ぐと決めた

だいきです。

このレポートでは  
僕がプログラミングをはじめて  
月収100万円を超えるまでお話。

そして、僕が社会人になってからも  
ずっと抱えていた大きなコンプレックスについて  
お話ししようと思います。

ではいきなりですが、  
ここからはじめますね。

まずはじめに、  
改めて現状をお伝えしておく、

僕はプログラミングで  
毎月100万円以上の収入を得ています。

完全在宅ワークで働きつつ、  
副業も自分のペースでこなして、

大好きな音楽に  
時間とお金を投下しまくる  
生活を送っています。

最近、ネットを通じて  
僕のことを知ってくれた方に  
毎月100万円稼いでるって伝えると

**「毎月100万円！？すごいですね！！！」**

**「どこの大学を出られてるんですか？  
京大とか東大あたりですか？」**

**「なんでそんなに仕事ができるんですか？」**

なんて質問をいただくことが多いですが、  
僕は京大も東大も卒業していません。

それどころが千葉県の田舎にある

超無名の私立大学を卒業しています。

もっと言うと  
僕は大学時代に  
墮落した生活を送っていたため、  
留年を経験しています。

つまり、  
本来4年間で卒業できるはずの大学に5年間、  
他人よりも1年も多く通ったというワケです。

東大や京大などに行く人たちのような  
超エリート街道とはまったくの無縁。

大学の授業をサボりまくり、  
就職先の会社でも失敗ばかりを繰り返し、  
家に帰ってはYouTubeを見るだけの墮落した毎日。

こんなにもダメ人間で

平凡とも言える生活を送っていた僕が、

今ではプログラミングで  
月収100万円以上も稼いでいるなんて言っても  
信じられない方もいるでしょう。

でも、学歴に関係なく稼げてしまい、  
短期間で割と大きく人生を変えられるところが  
プログラミングを学ぶ大きな魅力なんですよ。

**どういうことかと言うと、  
プログラミングなどのIT系のお仕事は  
個人のスキルに依存する部分が大きいです。**

たとえば  
IT以外の業種の場合、

会社のブランド、看板があり、  
それを元に仕事やお客さんが集まってきます。

で、集まってきた仕事を

会社に所属するメンバーでこなし、  
利益の一部を給与として分配すると。

有名で集客力のある  
大手企業は仕事が自然に集まってくるので、

従業員の収入も  
中小企業に比べると  
高くなるってことです。

しかし、  
**IT業界の場合は違って....。**

ITの場合はブランド力や会社の規模は関係なく、  
とにかくスキルが高い方に対して  
仕事が集まる構図となっています。

つまり、  
高度なプログラミングスキルさえ  
1度身につけてしまえば、

会社の規模に関係なく、  
もっと言えば会社に所属しなくても  
1人で毎月100万円以上、

年収1000万円以上の  
お金を稼げるってワケです。

最近、

**「フリーランスエンジニアは稼げる！！！」**

**「会社にいるよりも  
フリーランスのほうが稼げる！」**

といった声を聞くことも多いかと思います。

YouTubeやTwitter、  
様々なSNSなどでそんな声を  
耳にしてきた方も多いでしょう。

これがまさに、  
**「IT系のお仕事は個人のスキルに依存する」**  
を象徴しているんですよ。

なので極端な話、  
1度スキルさえ身につけてしまえば  
仕事に困ることもないし、

一般社員の給与である20~30万の  
お金を副業で稼ぐのも割と簡単ってワケです。  
(本業にすればもっと稼げます)

なんとなく、  
なぜプログラミングは稼げると  
巷で騒がれているのか、

その理由について  
分かっていただけではないでしょうか？

と、前置きはこの辺にしておいて、  
ここからは、どこにでもいるような  
ダメ人間だった僕がプログラミングで  
月収100万円以上稼げるようになった

経緯を詳しく書いていきますね。

稼げるようになった理由を  
解説するにあたって、

僕の過去からお話していこうと思うので、  
内容が少しボリューミーかもしれません。

ただ、具体的で想像しやすい  
文章を書くように意識しようと思っているので、  
想像よりもサッと読み上げられるはずです。

**プログラミングで  
月収100万円以上稼ぐためのヒントも  
たくさん散りばめていくつもりなので、**

**本気で稼ぎたい方は  
このレポートをぜひ隅々まで  
読んでいただくと良いかと思えます。**



## ～授業をサボりまくり留年、 音楽に溺れた大学生活～

僕は千葉県の田舎にある  
偏差値42程度の大学に通っていました。

偏差値42って言われても、  
なかなかイメージがつかない方も  
いるかもしれませんね。

大学に通っていた方なら分かるかもしれませんが、  
俗に言うFランク大学ってやつです。

**入学試験は名前を書いて、  
お金さえ払えば入学できる、みたいな。**

つまり、  
僕のようにあまり学力のない人が  
大卒の資格を取るためだけに  
通うような大学ってことです。

偏差値42の大学が全部そうってワケではないんですけど、  
僕が通っていたところはそんな感じでしたね。

僕は元々  
勉強が大嫌いで、  
高校も偏差値が40程度のところでした。

田舎で偏差値が低い高校だったせいか  
不良が多く、

停学を繰り返し、  
退学していくような生徒が  
学年に10名以上いる荒れに荒れた学校…。

そんな高校に通っていた僕が、  
東大や京大などの  
全国のエリートたちが集結するような  
大学に通えるワケがありません。

ちなみに大学の  
学部は経済で  
バリバリの文系学科。

当時は「プログラミング」  
なんて単語も知らなかったし、

ITのお仕事になんて  
全く興味はありませんでした。

経済学部に入ったのは  
特に理由があったわけでもなく、、

「なんとなく、  
お金に関する勉強をして  
損することはないだろうな~~~~」

くらいの感覚でした。

大学の授業料って

私立なら年間100万円以上かかりますよね？  
4年間なら400万円以上....。

学部によっては  
もっと学費がかかる場合もあるでしょう。

それなのに僕は  
大学で学んでいく学問のジャンルを  
こんなにも適当に選んでしまったんです。

過去の僕はこんな風に  
物事をしっかり考える能力が  
かなり乏しかったので、

かなり適当な理由で  
大学と学部を選択してしまいました。

**そして案の定、  
僕は墮落した大学生活を  
送っていくことになります....。**

大学に入学した僕は  
昔から音楽好きだったこともあって  
軽音楽部に入りました。

高校までも1人でギターやドラムを  
やってはいたんですが、  
なんせ地元が田舎なので。

バンドをやりたくてもメンバーが  
集まらないような状態だったんですね。

軽音楽部もあったにはあったんですが、  
女の子が9割9分を占めていて…。

高校生活の3年間は  
とにかく1人で楽器を触る毎日でした。

でも大学に入った途端、  
世界が180度変わったんですよ。

男部員が多い軽音楽部があって、  
当たり前前に楽器を弾ける人たちがいて、

ずーっと音楽の話をおきずに  
続けられる友人ができる。

**音楽好きでずっとバンドを  
組みたかった僕からすれば、  
まさに天国。**

しかも、  
みんな勉強が嫌いなので、  
授業をサボってバンドの練習をしようと  
誘えば乗ってくれる人たちばかりです。

**僕はそれを良いことに  
とにかく授業をサボりまくって  
大学生活をほぼ音楽に使ってしまいました。**

授業のノートは友人に頼んで

コピーさせてもらい、  
試験前だけ勉強するスタイル。

まあ当然、  
試験前だけの勉強で  
大学の単位が取れるワケもなく…。

**僕は大学3年の時点で  
すでに4年で大学を卒業できないことが  
確定してしまいました。**

同じように授業をサボり、  
音楽に明け暮れていたはずの  
友人はみんな無事に単位を修得しているのに…。

「なんで同じように過ごしてたやつらが  
単位を修得してるのに、  
俺はダメだったんだ？」

そう考えて、考えて、考えて、  
やっと僕は  
悲惨すぎる事実気づいたんですよね。

**僕はFラン大学の生徒の中でも  
かなり出来が悪いほうなんだと...**

出来が悪いというのも  
単に学力がどうだって  
話だけではなくて、

ちゃんと先を見て行動できない  
ダメな人間なんだって。

同じように過ごしていた  
仲間たちは好きな音楽をやりつつも  
ちゃんと裏で学業も両立していたんでしょう。

そんな当たり前のことすらも  
僕はできなかった...



仲の良かった  
軽音楽部の友人みんなが  
4年で卒業し、

僕だけが取り残された後で  
やっとその事実気づいたんです。

同学年の友人が  
大学を卒業してからは

軽音楽部の練習場に顔を出すのも  
気まずくなり、

音楽ができない状況にもなって  
本当に最悪でした....。

「ああ、  
あのときに勉強しておけば。  
ちゃんと授業に出ておけば....。」

そんな後悔で自分を  
責めまくる毎日。

仲間たちを誘って、  
自分主導で音楽をしていたので

もうとにかく  
自分を責めるしかなかったんです。

SNSを開けば、  
ついこの前まで  
一緒に音楽をしていた仲間たちが

**「同期と飲み会！！  
一緒に頑張っていきたい！」**

とか

**「住宅営業ではじめて成約取れた！  
インセンティブで月収50万円だああああ」**

とか

社会人としての  
日常を垂れ流しているんです。

ホントに、  
辛いってもんじゃないですよ。

**マジで地獄。**

「ああ、地獄って  
こういう気持ちのことを言うんだ...」

そんな感じです。

でも自分をいくら責めようと、  
仲間のSNSを見てどんなに落ち込もうと  
時間は止まってくれません。

僕は辛くても  
前に進まなくてははいけません。

そう思い、  
友人がいなくなった大学に  
まじめに通い続けました。

すると、  
幸いにも前期課程で  
単位の修得は無事に終了。

想像していたよりも  
すんなり単位を修得でき、

夏が終わる9月頃から  
就職活動を開始。

すると留年経験のある僕を  
雇ってくれる会社も  
すぐに見つかって。

「アレ？俺もやればできるじゃん...」

「会社では真面目に働いて  
ちゃんと良い成績を納められるように  
頑張ろう！！！」

そうやって  
自分なりに気持ちを切り替えて  
社会人生活をはじめようとしていました。

でも、  
本当の地獄はここからで、

僕は社会人になっても  
自らの怠慢で大きなミス  
を連発することになります…。

～仕事へのやりがいのなさ  
と  
ダメな自分に絶望した営業マン時代～

僕はお金さえ  
稼げればそれでいいだろ的な浅い思考で、

とにかくお給料の良い企業の  
採用試験を受け、

地元にある小さな電材を取り扱う商社から  
内定をいただくことになりました。

お給料が良いだけあって  
内定者の中は僕よりも  
高学歴な人がほとんどだったので、

誇らしいような気持ちが  
強かったのを覚えています。

**「俺は留年したけど、  
ちゃんとやれば優秀だから  
学歴の高いやつらと働けるんだ」**

みたいな感じで、  
正直かなり調子に乗っていましたね。

僕の入社した会社では、  
新人は半年間取り扱う商材の基礎を学び、

その後、営業に出るのが通例の流れでした。

もちろん僕も無事に  
最低限の商材知識を身につけ、  
半年後には意気揚々と営業活動に出ます。

しかし、

**「なんだか思っていたのと違う...」**

僕は営業活動に出てすぐに  
妙な違和感を感じ始めました。

実際に営業の仕事を本格的に始めてみると  
自分が提案をして商材が売れることは  
ほとんどなかったんですよ。

商品の売上は  
お客さん主体で決まっていく。

つまり担当する営業先によって  
自分の月売上も変動していくってことです。

僕の勤めていた会社は創業から  
100年近くの歴史ある会社で、  
顧客は昔からの馴染みのある企業ばかりでした。

なので、  
うちの会社に義理を感じて  
商材を買ってくれる企業が  
多かったんですよ。

僕が営業活動を頑張るのかは  
一切売上に関係ない。

お客さんの意志次第で  
売上が決まる。



つまり、  
僕は会社とお客さんを  
つなぐコマだったんですよ。

**営業職という名のコマです。**

その本質に気づいてしまった僕は、  
仕事に対するモチベーションが  
どんどん下がっていきました。

モチベーションが下がる中で、  
営業活動に行くと言いつつも  
公園でぼんやり雲を見ながら  
仕事をサボりまくっていた時期もありましたし、

上司にサボりがバレて、  
みんなの前でお叱りを受けるようなことも  
どんどん増えていきました。

あとから入ってきた  
後輩は取引金額の大きい営業先を  
持たせてもらっているのに、

僕はズーっと入社当初に担当になった  
小さな町の電気屋さんを担当で。

売上もどんどん後輩に追い抜かれ、  
自分が何をやっているのか、

何のために働いているのかも  
分からないような状態に陥ってしまったんです。

そんな毎日を過ごす中で

**「こんな仕事をあと40年以上も続けて、  
その先に一体何が待っているんだろう」**

そうやって悩んでは明日が来て出勤し、  
また悩んでは明日が来る…。

ただ時間が過ぎる中で、  
僕は職場と家を往復し、  
仕事をサボり、

家ではYoutubeを  
見まくるだけって感じの生活を送っていて。

**気づいた頃には  
大学生のときのような  
墮落した自分に戻ってたんですね。**

あんなに痛い目にあっただのに....。

そんな毎日を過ごしていたある日、  
僕はYoutube動画を漁っているうちに  
人生を変えるきっかけとなる  
プログラミングに出会いました。

～僕の人生を変えた「プログラミング」  
しかし最初から上手だったわけでは  
なかった...～

Youtube動画を見ていると

「プログラミングをやれば稼げる」

「フリーランスになれば  
年収1000万以上稼ぐのも余裕」

と言っている  
情報発信者がたくさんいて...

普通の仕事をしている  
当時の僕からすれば信じがたい話でしたが、

実際に調べてみると  
プログラミングで毎月100万円以上稼いでいる方は  
世界中に、日本中にわんさかいたんです。

「こんなにもプログラミングで  
稼いでいる人がいるのなら  
俺だって稼げるだろう...」

プログラミングという単語すら  
知らなかったものの、

なぜか自分にもできると  
思い込んでしまって...。

そのままの勢いで僕は仕事をやめ、  
すぐにプログラミング学習を開始しました。

で、勢いよく行動には移せるものの、  
あっという間に挫折。

また違う方法で  
挑戦するも挫折の繰り返し...。

**「ああ、また俺は失敗するのか...」**

そうやって諦めかけていたときに  
たまたま地元へ帰省してきた  
エンジニアの友人に相談した結果、

最適な学習方法を教えてもらい、  
わずか3ヶ月で転職に成功します。

その後も会社の仕事と副業を両立し、  
あっという間に月収100万円に到達。

**このとき気づいたことがあるんですが、、、  
正しい努力の方法を知るのって超重要です。**

僕はプログラミングを  
勢いよく始めたにもかかわらず、  
2度の挫折を繰り返してしまいました。

**この2度の挫折に共通するのは、**

**完全に我流でプログラミングを  
学ぼうとしたこと。**

これだけです。

今振り返って深く考えてみても  
本当にこれだけなんですよね。

その証拠に、  
僕はエンジニアとして活躍する  
友人のアドバイスを聞き入れた途端、

一気にプログラミング転職での  
道が拓けました。

結局、どういうことなのかというと。

**何かで成果を出したいのであれば、  
すで成果を出している人、**

**その道のプロに教えてもらった方法で  
努力するのが時間的にも金銭的にも  
最も損失が少ない方法だということです。**

しかし、  
昔の僕も含めてですが、  
プログラミングを学ぼうとする人ってなぜか

**「独学でも生活費を稼げるレベルになれる」**

と信じて疑わない方が多いんですよね。

**冷静に考えれば  
独学で学んで生活費ほどの  
お金を稼げるわけなんてないのに。**

ほとんどの方はこの根本的な  
問題に気づかないんですよ。



プログラミングは  
挫折率が9割だなんて言われますが、

我流で学ぼうとする方が  
どんどん挫折していくから  
このような数値になっているんだと思います。

実際に過去の僕も  
我流で学習を進めようとして  
見事に2度も挫折しましたからね....。

でも僕はその道のプロの助言を受けて  
月収100万円以上稼げるプログラマーになった。

なのでこれから  
プログラミングを学ぼうかな...と  
考えている方に先にお伝えしておきます！

我流で学習を進めるのは  
非効率で挫折する確率を高めてしまうだけなので、  
やめたほうが良いと思います！

2度も挫折した  
僕が言うから間違いないはずです。

「低学歴・留年経験あり・仕事ができない」  
コンプレックスだらけでダメ人間だった僕が  
月収100万円を達成して今、思うことは、

**『正しい努力をすれば、  
人は短期間でも変われるってこと。』**

人の未来というのは  
努力の方法次第で大きく変わります。

過去に大学で留年し、  
仕事をサボりまくった僕のように。

プログラミングを正しい方法で学び、  
あっという間に月収100万円を  
達成してしまった僕のように。

「で、あなたはどうしますか？」

不安な想いを抱えながらも  
未経験からプログラミングを学び、  
自由に生きがいのある毎日を目指して努力するのか。

過去の僕のように努力しなかった自分や  
判断を誤った自分を責めながら  
辛い毎日を過ごすのか。

この先は自由です。

現状に満足していれば  
そのままで大丈夫ですし、

現状に不満があるなら  
何かしらの行動を起こしてみる。

この2択だと思います。

僕は過去の挫折体験と  
今、月収100万円になれた成功体験、  
失敗と成功の両面を  
知っている立場を活かして、

1歩踏み出そうとする  
あなたをサポートできればと考えています。

なので  
本気でプログラミングスキルを  
身につけたい方だけ、

LINEマガジンも  
お読みいただければうれしいです。

自分語りが高く、  
若干キツイ言葉を書き連ねて  
しまったかもしれませんが、  
僕の話は以上です。

ここまでお読みいただき  
ありがとうございました。

ぜひ、今日この日から、  
プログラミングで稼げるようになるための  
第1歩を踏み出していただければうれしいです。

[>>>無料LINEマガジンを読んでみる](#)

※【期間限定】  
プログラミングで  
月収100万円稼ぐための  
攻略ロードマップもLINEマガジン内で  
無料配布中です！！

追伸：  
みなさんがくれるLINEは順番に全て確認しています。  
僕のLINEマガジンに関する感想や質問があれば  
その都度ガンガン送ってください。

感想や質問を送ってくれる方には、  
LINEマガジンでもおおよけには紹介しない

プログラミングで稼げるようになるための  
ノウハウなんかもお伝えするかもしれません。

ちなみに僕はプログラミングで  
月収100万円以上になるためのノウハウを  
隠しておくつもりは一切ありません。

別にプログラミングで  
稼げる人を増やしたところで  
僕の稼ぎが減るわけじゃないですし。

なので、  
プログラミングで  
稼げるようになりたい方は  
ガンガン質問してもらえれば、

僕もどんどんプログラミングで  
稼げるようになるまでの方法をお  
伝えしていきます。

過去の僕のように、  
自分を変えたいと思う方は

ぜひLINEから連絡をいただくと、  
全力でサポートします。

次はLINEマガジン内で  
お会いできることを楽しみにしています。

[>>>無料LINEマガジンを読んでみる](#)

※【期間限定】  
プログラミングで  
月収100万円稼ぐための  
攻略ロードマップもLINEマガジン内で  
無料配布中です！！

ではでは。